

わが国初のコークス高炉からの出銑による扁額

登録番号	第 00074 号		
登録年月日	2011（平成23）年9月27日	登録区分	第二種 （単一又は極めて少量生産されたもの）
名 称 （型式等）	山神額		
所 在 地	岩手県釜石市 山神社		
所 有 者 （管理者）	日本製鉄株式会社 北日本製鉄所		
製 作 者 （社）	釜石鉱山田中製鐵所		
製 作 年	1894年		
初 出 年			
選定理由	1894年はわが国初のコークス高炉法が確立された製鉄技術史上画期的な年であった。それまでは木炭を使用していたが、コークスを使用すれば安定的に大量の鉄鉱石の還元が可能となる。また、コークス製造によるコークス炉ガス等の副産物が得られるという利点があった。さらに、コークスを使えば高温での操業が可能となり、釜石鉱石のような硫黄分の多い鉱石の場合に石灰石を挿入して脱硫精錬を行うことができる。このようなことからコークス法はどうしても確立しなければならない技術であったが、当時の田中製鐵所は野呂景義と香村小録の指導によりこれを成功させた。本資料はわが国初のコークス銑（せん）で鑄造された貴重な記念扁額（へんがく）である。		
登録基準	一ーイ （科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの）		

公開・非公開	公開
写 真	 
その他参考となるべき事項	